

# 人工知能技術コンソーシアム 2021 年度事業計画書



## 1. 2021 年度の活動

我が国が掲げる Society5.0、サイバーフィジカル社会の実現、デジタル変革(DX)の推進を目指し、人工知能技術や IoT・ビッグデータ活用、デジタル変革(DX)による課題解決に関心のある複数の企業や地域の関係機関を集め、全体会議やテーマごとの集会においてビッグデータを活用したデジタル変革(DX)推進プロジェクトや人工知能技術の活用事例(ユースケース)、動向の共有、意見交換、コンテストの開催及び協働プロジェクトの構想や実証結果の報告を行う。また同じ関心を持つメンバーから構成されるワーキンググループ(WG)を設け、各 WG 内で実証プロジェクトの立案、試行、協業を進めるなど、共創的価値創出を促進する。

2021 年度は、各 WG や地域拠点となるグループの相互作用を促進するためのオンライン情報基盤を整備し、会員組織間での共創的価値創出をより加速させるとともに、AI 技術やビッグデータを用いたデジタル変革(DX)プロジェクトの試行事例を多く創出することを目指す。具体的には、多様な業種により構成された WG の中で、共通の課題を共有したメンバーが集まり、協働プロジェクトチームとして活動し、実データ収集と技術シーズとのベストマッチング、価値あるユースケースを模索し、ワークショップやコンテストを通じて具体的なアクションプランを構想、実施する。このアクションプランを実施した実証結果を得られたデータを分析、モデル化して効果を評価して報告し、他の WG や地域のグループが参照できるような「リファレンスモデル」を集積することで、AI 技術の社会実装、デジタル変革(DX)推進モデルの水平展開、加速度的普及を目指す。このようにして得られたコンソーシアムの活動成果は地域支部 WG におけるセミナーや、公開シンポジウム、Web ページなどを通じて外部発信し、人工知能技術の社会実装、Society5.0 の実現、社会や産業のデジタル変革推進に向けた取り組みを促進していく。

## 2. 活動内容

コンソーシアムの活動内容は主に以下の 5 点である

### ① ニーズ・ユースケース、データと技術シーズのベストマッチング

法人会員がそれぞれの課題や強みを紹介し、お互いの理解を深める場として運営委員の承認を受けた WG を設立し、その中で参加会員間の協業の可能性とアクションプランの策定を行い、実証プロジェクトとして予算化し、体制を構築する。任意参加となる個別相談会の時間を設け、興味のある会員同士が協調、共創して各 WG の運営を進めていく。

### ② 人工知能技術とビッグデータを活用したデジタル変革推進の実証と公募提案

#### ・ビジネスモデル構築

人工知能技術とビッグデータ活用について、実証プロジェクトを具体化しフィールドの選定や実証実験を試行する。これにより成功事例や失敗事例についての検証を得られたノウハウなどとともに報告する。さらにプロジェクトの大規模をはかり、公募事業への提案やビジネスモデルの構築も目指す。

③ 人工知能技術とビッグデータ活用に関するセミナー、情報共有及び共創的ワークショップ、コンテスト、展示イベントなどの実施

人工知能技術(AI ツールや AI リビングラボ、ビッグデータ活用など)に関するセミナー、情報共有、共創的ワークショップ、ビジネスアイデアなどのコンテスト、展示イベントの場をリアルとオンラインの両方で提供する。

④ 外部向けイベントの実施

上記の会員向け企画の他にも定期的に外部向けにシンポジウム、セミナー等のイベントを企画・開催するとともに、Web ページなどを通じて広報活動も行うことで新規会員の獲得を目指す。

⑤上記を円滑に行う為のオンラインサービスを会員に提供するための環境を整備・運用する。

### 3. 活動計画

運営委員会ならびに各 WG 会合をおよそ 1 ヶ月に 1 回程度実施する。また全体会議(総会及び定例会)を年4回程度実施し、各 WG やプロジェクトの活動報告とコンソーシアム全体の運営に関する議論を行う。年に数回程度、外部参加者も交えた公開イベント、コンテスト、共創的ワークショップを開催し、各 WG やプロジェクトなどコンソーシアムの成果の発信を行う。

### 4. ワーキンググループ(WG)

各 WG は会員から構成メンバーを選出し、活動計画、予算案について運営委員の承認を得て活動を開始する。現在予定している WG は以下の通り。必要に応じて新たな WG を追加することもありうる。

2021 年度 (21WG)

- ・ Human Life WG
- ・ データ・知識融合 WG
- ・ データプラットフォーム WG
- ・ ものづくり WG
- ・ AIリビングラボ WG
- ・ AIツール WG
- ・ データマイニング WG
- ・ ユースケース WG
- ・ 医用画像 WG
- ・ 社会課題解決 WG
- ・ 深層学習 WG

- ・ サイバーフード WG
- ・ 観光 WG
- ・ 教育 WG
- ・ AI サービスシステム WG
- ・ Human Resource WG
- ・ バリューデザイン WG
- ・ 関西支部 WG
- ・ 東海支部 WG
- ・ 神戸支部 WG
- ・ 九州支部 WG

## 5. コンソーシアムの運営

本コンソーシアムの運営委員会は以下から構成される。適宜追加されうる。

会長：本村陽一（産業技術総合研究所）

副会長：豊田俊文（産業技術総合研究所）、武井明則（PwC ビジネスアシュアランス）、松岡竜大（シグマクス）

運営委員：鶴川健太郎（セック）、牧野茂樹（野村総合研究所）、轟佳大（アイリス）、西尾善英（シナジーマーケティング）、猪谷誠一（博報堂）、岩本圭介（NTT データ数理システム）、古賀 久芳（株式会社 NTT データ数理システム）山本和寛（NTT データ数理システム）、石田和宏（クリアタクト）梅崎猛（セゾン情報システムズ）、杉山 邦洋（ブイシंक）、上原将司、玉川弘子（大阪商工会議所）、野間康平（大阪商工会議所）、浅田圭佑（大阪商工会議所）、竹下竜介（神戸商工会議所）、兵頭拓朗（神戸商工会議所）、片山善寛（アシスト）、伊藤久司（東海ソフト）、渡辺健司（応用技術）、田中雄策（リテール AI 研究会）、安松健（オーグス総研）、佐藤優介（慶応義塾大学）、大江規之（ソノリテ）、宇津木達郎（内閣府）、宮下修（ジェイ・フェニックス・リサーチ）黒田 由加（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）、諏訪明梨（エムアンドシーシステム）

萩島功一（産業技術総合研究所）、高岡昂太（産業技術総合研究所）、山下和也（産業技術総合研究所）

事務局：竹田会里（産業技術総合研究所）

（順不同）

## 6. 年間スケジュール(予定)

全体定例会 \*詳細は別途 HP の新着情報に掲載

- ・ 第 1 回～ 第 3 回全体定例会 (開催日未定)
- ・ 総会、第 4 回全体定例会 (3 月)

外部向けイベントの開催予定

- ・ WG 見本市
- ・ 各 WG 主催のオープンイベント

収支予算

2021 年度予算は下記表の通り。

費目	金額	備考
収入		
会費	19,600,000 円	100,000 円×196 口
合計	19,600,000 円	
支出		
WG 活動費(加速費を含む)	15,300,000 円	内訳別表に記載
運営費(人件費、物品費、役務等)	4,300,000 円	
合計	19,600,000 円	

別表. WG 活動費

平成31 年度 WG 予算計画	計画予算 合計	<内訳> 旅費・宿泊 費	<内訳> 会議・イベント 費	<内訳> 研究・開 発・実証費	<内訳> 備品・機材購 入費	<内訳> 計算機利用 料
1.Human Life	60 万円		250 千円	350 千円		
2.ものづくり	100 万円	200 千円	200 千円	500 千円	100 千円	
3.社会課題解決	100 万円	200 千円	200 千円	400 千円	200 千円	
4.ユースケース	100 万円		200 千円	800 千円		
5.医用画像	100 万円			900 千円	100 千円	
6.サイバーフード	100 万円	800 千円		200 千円		
7.観光	100 万円	800 千円		200 千円		
8.教育	100 万円	400 千円	200 千円	400 千円		
9.データ・知識融合	60 万円		350 千円	250 千円		
10.データプラットフォーム	60 万円	250 千円		350 千円		
11.データマイニング	60 万円		250 千円	300 千円	50 千円	

12.AIツール	100万円			1000千円		
13.AIリビングラボ	100万円			900千円	100千円	
14.深層学習	100万円	200千円				800千円
15.関西支部	100万円	500千円	500千円			
16.九州支部	100万円	500千円	500千円			
17.東海支部	100万円	300千円	400千円	300千円		
18.神戸支部	100万円	200千円	400千円	400千円		
19.AI サービスシステム	100万円	100千円	300千円	300千円	300千円	
20.Human Resource	100万円	100千円	500千円	400千円		
21.バリューデザイン	100万円	100千円	400千円	500千円		